

北海道環境保全技術協会主催
H17 年度第 4 回環境保全技術セミナー
「水質浄化技術特集」

日時：平成 18 年 2 月 24 日（金） 午後 2 時～5 時
場所：かでの 2.7（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）
セミナー会場：7F・720 研修室
参加費：無料

< プログラム >

1. 開会挨拶
(14:00～14:05)
2. 「自然の力を利用する浄化技術 - 人工湿地による水質浄化を中心として - 」
(14:05～15:35)

[概要]：自然の力を利用した環境に優しい浄化技術について概観し、地質研究所が中心となって実施した人工湿地による水質浄化に関する研究成果について報告する。あわせて、地質研究所のファイトレメディエーション（植物浄化）への取り組みも紹介する。

[発表者]：北海道立地質研究所 環境地質部環境工学科長 遠藤祐司 様

3. 「高機能性微生物を利用した水産廃棄物処理プラント及びそれに伴う排水処理」
(15:45～16:55)

[概要]：(株)ロムと産業技術総合研究所ゲノムファクトリー研究部門は共同で、水産廃棄物の発酵分解処理プラントに使用する高機能性微生物を開発しました。ホタテの内臓等、水分、脂質、窒素分、有害重金属を含む水産廃棄物を、高い有機物処理能力及び環境適応性を有するBacillus属細菌を使用することにより、最終残物の量を最小限に減量化することが出来ます。最終残物は安定管理型処理場で焼却処分するため、現在稼働している焼却型処理施設や堆肥型プラントに比べて、省エネルギー、低コストであり、環境負荷も大幅に軽減することが出来ます。

[発表者]：株式会社ロム 専務取締役 有森秀一 様

独立行政法人産業技術総合研究所 ゲノムファクトリー研究部門
遺伝子資源解析研究グループ 主任研究員 農学博士 星野 保 様

4. 閉会挨拶
(16:55～17:00)

参加総数 78 名（会員：15 名、非会員：16 名、官庁関係：34 名、その他：13 名）



